学校番号	２０６

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	創造英語	2	2	自主教材

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

変化の激しいグローバル社会において、確かな知識と教養を基盤に英語力を高め、多様性を尊重しながら他者と協働し、主体的に課題を発見、問題解決を図りながら最適解を導き出す能力を育成する。
１年生での学習内容を基盤とし、聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことの４技能５領域を高めながら、アウトプットに重点を置き、英語力の向上を図ります。論理的及び多角的、創造的思考を養い、AI 技術の急激な進化や COVID-19 などの疾病、台風、地震等災害など、予測が難しい VUCA（Volatility, Uncertainly, Complexity, Ambiguity）の新時代に対応した力を、英語を通じて身につけていきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的な事柄や自分のこと、身の回りのことについて、簡単なやりとりをすることができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、前もって準備したうえで、会話に参加することができる。 ・身近なトピックについて、簡単な語や表現を用いて意見交換をすることができる。	・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ・身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	・自分が必要とする事柄について、簡単な語句や表現を用いてメッセージなどを書くことができる。 ・身近なトピックについて、簡単な語句や表現や用いて、短い説明文を書くことができる。 ・聞いたり読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて意見や感想、まとめを書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	総合英語ⅡやエッセイライティングⅠ、骨太英語で学んだ知識・技能をさらに深め、既習内容をその目的、場面、状況に応じた実際の場面で、適切に活用することができる技能を身に付けている。	他者と協働しながら、論理的かつ多角的に英文にふれ、話し手や書き手の意図を的確に捉え、創造的に表現したり、伝え合ったりしている。	他者と協働しながら、論理的かつ多角的に英文にふれ、話し手や書き手の意図を的確に捉え、創造的に表現したり、伝え合おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと （やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
	中間考査			
	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと （発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見やアイデアを伝える技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えることができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えようとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション 原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見を書く技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書くことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書こうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	期末考査			
2	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと （やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
	中間考査			
	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと （発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見やアイデアを伝える技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えることができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えようとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション 原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見を書く技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書くことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書こうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	期末考査			

3	総合英語及びエッセイライティングⅠの内容と関連したトピック	話すこと（やりとり）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、英語で意見を伝え合い、ディスカッションする技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合うことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や感あげ、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝え合おうとしている。	ペアワーク ディスカッション ディベート 振り返り
		話すこと（発表）	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見やアイデアを伝える技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えることができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で伝えようとしている。	プレゼンテーション プレゼンテーション原稿 振り返り
		書くこと	a: 本課で学習する語彙や英文の理解を基に、根拠を提示しながら英語で意見を書く技能を身に付けている。 b: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書くことができる。 c: 日常的及び社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理的に多角的な視点で書こうとしている。	ライティングタスク 振り返り
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度